

データセンターコアファンド新規組成及び国内稼働型データセンター資産の取得

2026年3月24日

三井物産アセットマネジメント・ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：萩野 保、以下「当社」）は、稼働型ハイパースケールデータセンター（以下「HSDC」）を、新設ファンドを通じて取得することを決定し関連契約を締結しました。新規組成するデータセンターコアファンド（以下「コアファンド」）は星国最大の上場 REIT である CapitaLand Ascendas REIT と共に関西圏の稼働型ハイパースケールデータセンターの信託受益権の 100%を取得します。コアファンドは信託受益権の 51%を所有する予定です。

HSDC は、AI・クラウドサービスをはじめとするデジタル技術を支える中核インフラとして、今後の生活利便性の向上および地域産業の発展に重要な役割を担う社会基盤です。当社は、2021 年より不動産私募ファンド運用会社である三井物産リアルティ・マネジメント株式会社を通じて HSDC 開発ファンドを組成し、HSDC 開発事業に取り組んできました。

今回の取得は、当社が HSDC 開発ファンド事業に続けて、新たに国内機関投資家とコアファンドを組成の上で、シンガポールにおけるビジネススペース・産業用不動産分野で最大の上場 REIT である CapitaLand Ascendas REIT と共に取得する第 1 号案件で有り、データセンター事業の更なる拡大を企図したものです。取得後は、これまでの HSDC 開発事業と同様に、三井物産リアルティ・マネジメント株式会社に資産管理業務を委託する予定です。

三井物産株式会社は、現中期経営計画でも、グローバルに展開する事業ポートフォリオを通じたデジタルインフラの安定供給のための高度な仕組みの構築を掲げています。2025 年 3 月に取得した神奈川県 of HSDC に続き、今回新たにコアファンドを通じた案件を取得することで、当社のデータセンター事業は着実に拡大しており、今後も継続的な投資および事業推進を通じて、本取組のさらなる発展を図ってまいります。

当社は、アセットマネジメント機能も活用し今後成長が見込まれるアセットクラスへの投資機会を機関投資家・事業会社等に提供します。また、データセンター市場の更なる活性化を通じて、産業を支えるデジタルインフラの構築に貢献していきます。

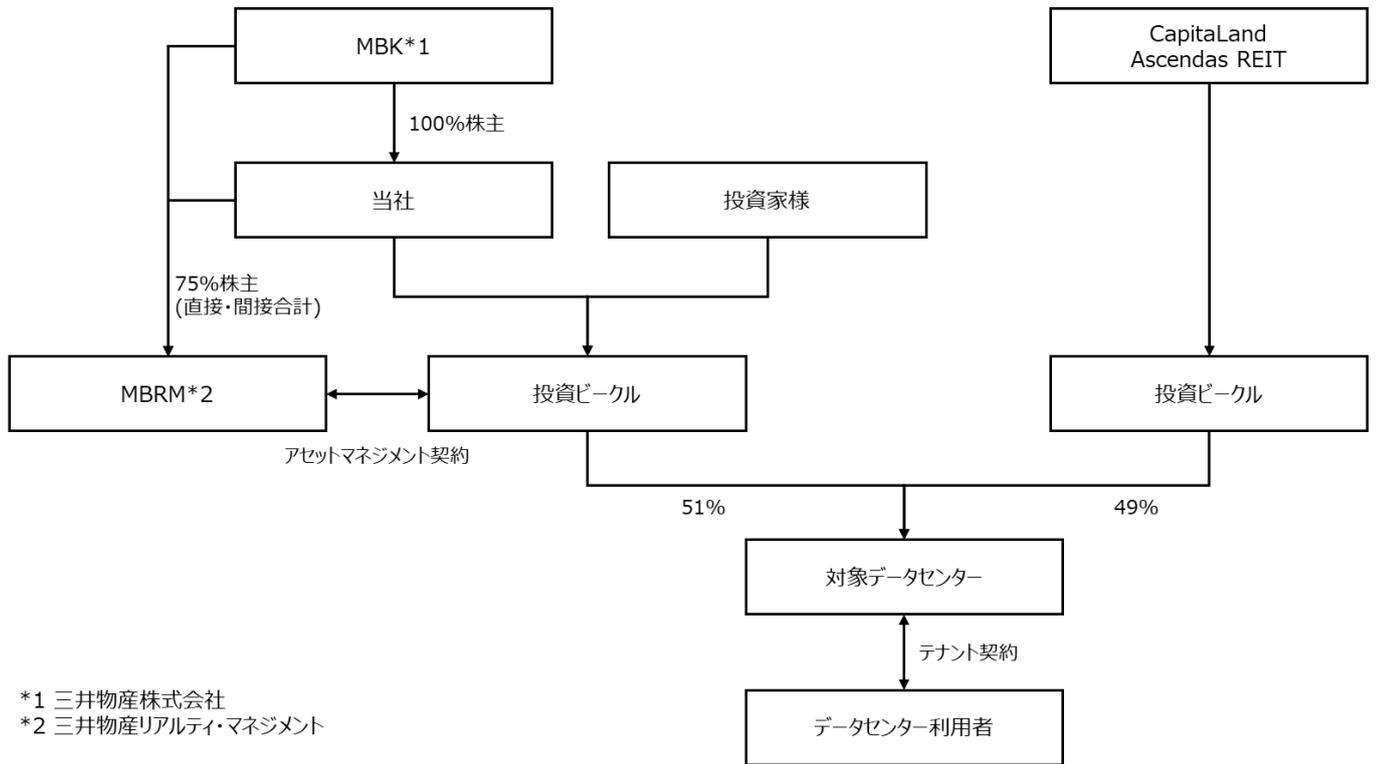
1. ハイパースケールデータセンター（取得対象）概要

所在地：大阪圏

稼働状況：稼働中

電気容量：40.5MW + 5.4MW 拡張キャパシティ

2. ストラクチャー図



(物件写真)

